

2016年3月9日(水)



ぶぶん にっしょく

# 部分日食を見てみよう!

佐久市子ども未来館  
SAKU CHILDREN'S SCIENCE DOME FOR THE FUTURE

## ★この時間に見えるよ!



日本では部分日食を観察することができます。インドネシアの一部の地域では、皆既日食が起こります。

かんさつ

## ★安全な観察のしかた

太陽はとても強い光を出しているので、そのまま観察することはできません。以下の方法で観察しましょう。

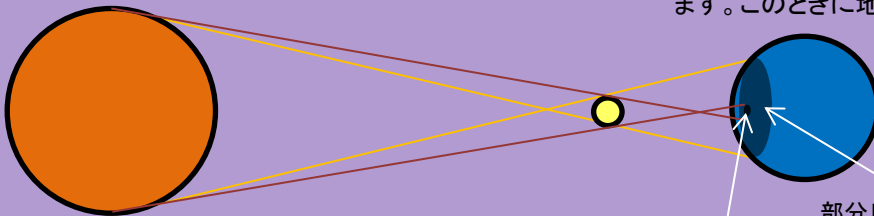
- ・市販の日食グラスを使う
- ・木もれ日を見る
- ・小さな穴(ピンホール)をあけた紙やアルミホイルを通して、地面に映った太陽を見る

ちゅうい

## !!!注意!!!

- ・太陽を直接見てはいけません!失明の恐れがあります。望遠鏡、双眼鏡などでも太陽を見ないこと!
- ・サングラス、黒い下じき、すすをつけたガラス、カメラのフィルム等で観察しても、目を痛める恐れがありますので、やめましょう!




## ★日食はなぜ起きるの?



日食は、太陽、月、地球が一直線に並んだ時に起きます。月が太陽の光をさえぎると、地球の一部に月の影ができます。このときに地球から太陽の方向を見ると、太陽が真っ黒に見えたり、欠けているように見えたりします。これが日食です。

## ★日食には種類があるの?

日食には3タイプがあります。

1. 皆既日食(かいきにっしょく)
 
 太陽が月によって全て隠される日食です。太陽の光が地球に届かないため、真っ暗になります。
2. 部分日食(ぶぶんにっしょく)
 
 太陽の一部が月によって隠される日食です。今回の日食はこのタイプです。
3. 金環日食(きんかんにっしょく)
 
 月と地球とのきよりは一定ではなく、少しだけ変化しています。月が遠くにあるとき、見た目の大きさが太陽よりも小さくなります。すると、太陽の真ん中が隠され、ふちだけが金の指輪のように輝く金環日食が起こります。

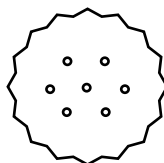
## ★ピンホールで見よう!

ピンホールとは、画びょうをさして作ったような小さな穴のことです。紙やアルミホイルに穴をあけて、日食を見てみよう!

1. あらかじめ紙やアルミホイルに小さな穴をあけておく。
2. 地面の平らな面を探るか、地面に紙を置く。
3. 日食中の太陽と平行になるように紙を持ち、ピンホールを通りぬけて地面に落ちた光を観察する。

※木もれ日が日食中の太陽の形になるのも、これと同じくみです。

※ビスケットの穴、テレホンカードの穴、麦わら帽子などでもできます。



↑  
ためしてみてね!

